

給与支払報告書(個人別明細書)の書き方

《支払を受ける者の「住所」》
給与の支払を受ける者の、令和2年1月1日現在の住所を本人に確認のうえ、番地・方書まで詳細に記入してください。

《(源泉)控除対象配偶者の有無等》
【有】欄
主たる給与等において、年末調整の適用を受けており、控除対象配偶者である場合には「○」を記載します。
年末調整の適用を受けていない場合は、源泉控除対象配偶者を有しているときに「○」を記載します。
【老人】欄
控除対象配偶者が老人控除対象配偶者(70歳以上、昭和25年1月1日以前生まれ)である場合には「○」を記載します。

《(源泉・特別)控除対象配偶者》
控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者の氏名、フリガナ及び個人番号を記入します。
※受給者に交付する源泉徴収票には、個人番号は記載しません。

《配偶者の合計所得》
控除対象配偶者又は配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額を記載してください。

《控除対象扶養親族・16歳未満の扶養親族》
控除対象となる扶養親族及び16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ及び個人番号を記入します。
※受給者に交付する源泉徴収票には、個人番号は記載しません。

《中途就・退職》
年の中途で就職や退職をされた方は、該当欄へ「○」を記載し、その年月日を記入してください。
※退職日の記載がない場合、引き続き在職しているものとして扱い、特別徴収として扱うことがあります。

※区分		※種別		※整理番号	
住所 吉川市きよみ野〇丁目×番地		受給者番号 XXXX-XXXXXX		個人番号 123456789012	
氏名 吉川 太郎		フリガナ ヨシカワ タロウ		職名 ヨシカワ タロウ	
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の合計額	源泉徴収税額	
給料・賞与	6,847,500	4,962,750	2,799,846	0	
源泉控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)		控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)	
有	○	老人控除の有無	○	16歳未満扶養親族の数	2
老人控除の額		380,000		障害者の数(本人を除く。)	
社会保険料等の金額		909,846		非居住者である親族の数	
生命保険料の控除額		120,000		その他	
地震保険料の控除額		50,000		特別徴収	
住宅借入金等特別控除の額		118,700		その他	
(摘要)					
株式会社 なま坊		支払額 5,135,000円		退職日 令和元年9月30日	
		社保 682,000円			
生命保険料の金額	80,000	旧生命保険料の金額	100,000	介護医療料の金額	80,000
住宅借入金等特別控除適用数	2	居住開始年月日(1回目)	23年1月10日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住
住宅借入金等特別控除可能額	205,000	居住開始年月日(2回目)	26年8月20日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	(特)
源泉特別控除対象配偶者	ヨシカワ ハナコ	配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額	
氏名	吉川 花子	個人番号	234567890123	旧長期損害保険料の金額	
氏名	ヨシカワ イチロウ	個人番号	456789012345	5人以上の控除対象扶養親族の個人番号	
氏名	吉川 一郎	個人番号	890123456789		
氏名	ヨシカワ ジロウ	個人番号	567890123456		
氏名	吉川 二郎	個人番号	901234567890		
氏名		個人番号			
氏名		個人番号			
氏名		個人番号			
氏名		個人番号			
氏名		個人番号			
中途就・退職	○	受給者生年月日	51年1月1日		
個人番号又は法人番号	5432109876543				
住所(居所)又は所在地	吉川市吉川〇丁目×番地				
氏名又は名称	株式会社 なまりん				
	(電話) 048-982-XXXX				

《支払を受ける者の「個人番号」》
給与の支払を受ける方の個人番号を記載します。
※受給者に交付する源泉徴収票には、個人番号は記載しません。

《支払を受ける者の「氏名」》
本人の確認に必要な事項です。正確に記載し、フリガナを必ずふってください。

《摘要》
①同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)を有する方で、その同一生計配偶者が、障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合は、同一生計配偶者の氏名及びその旨を記載してください。
(例 「氏名(同配)」)
※同一生計配偶者で障害者に該当しない場合は、別途申告の必要があります。
②前職での給与等を合算して年末調整を行った場合には、前職会社の名称(氏名)、給与等の支払額、社会保険料の額、退職年月日を記載してください。
③特別徴収(給与天引き)ができない方は、必ず「普通徴収希望」と記入し、普通徴収該当理由書の該当する符号を記入してください。記入がない場合は特別徴収となることがあります。
④受給者が事業専従者の場合は「専従者」と記入してください。
⑤提出後に訂正・修正があった場合は「訂正分」と朱書きで記載し、正しい内容の報告書を再提出してください。

《生年月日》
本人の確認に必要な事項です。必ず正確に記入してください。

《支払者の「個人番号」又は「法人番号」》
支払者の個人番号又は法人番号を記入します。
※受給者に交付する源泉徴収票には、個人番号及び法人番号は記載しません。